

日常のお手入れ

レンズ

- ほこりはブローやエアダスターで吹き飛ばしてください。
- 指紋または油類の汚れは、上記を行った後、IPAや無水アルコール(エチルアルコール、メチルアルコールなど)を柔らかい布にわずかに含ませて軽くふき取ります。
ふき取った後水分が残っている場合は、乾いた柔らかい布で必ずふき取ってください。
- シミやムラの原因となるおそれがあります。
- 使用時以外は付属のキャップをCマウントに装着し、ケースに入れて保管してください。
- 高温・湿気・ほこりを避けて保管してください。

オプション

L-835

USBカメラ

パソコンに接続して観察できる500万画素のカメラです。本体にはカメラネジが付いており、アームなどと組み合わせて使用できます。付属ソフトで画像・動画の撮影、静止画の編集、寸法計測が簡単に行えます。



L-803

フレキシブルアーム

カメラネジでカメラを取り付けるタイプのアームです。



L-50-2

レンズフィルター

フィルター径46mmのレンズ保護用フィルターです。ハンダ付け時の煙やフラックスのはねによってレンズが汚れるのを防ぎます。



技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00】

補修部品については、Web上のパーツリストをご覧ください。
通信販売もご利用いただけます。 [ホーザン 通信販売](#) [検索](#)

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL (06) 6567-3111 FAX (06) 6562-0024

20.10

HOZAN

製品情報

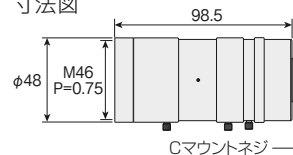
L-870

ズームレンズ

このたびは ホーザン L-870 ズームレンズ をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品情報をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称と入組明細

寸法図



仕様

レンズマウント	Cマウント
作動距離	150~400mm※
重量	260g

※ この範囲の全ての距離でピントが合います。

光学倍率表 (作動距離50mmごとの光学倍率)

作動距離mm		150	200	250	300	350	400
光学倍率×	最小	0.08	0.054	0.042	0.034	0.029	0.025
	最大	0.8	0.54	0.42	0.34	0.29	0.25

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

本器はCマウントカメラ用のズームレンズです。この目的以外に使用しないでください。

準備

- 1 Cマウントカメラに本器Cマウントを取り付けます。
マウント部のキャップを外し、時計方向にねじ込んで固定してください。

使用例 L-835 USBカメラ



Cマウント

- 2 カメラをパソコンに接続するなどし、観察できる状態にします。
※接続方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

- ・ L-851 フルHDカメラ および L-834 USBカメラ (赤外線仕様) を使用する場合

L-851 フルHDカメラ および L-834 USBカメラ (赤外線仕様) を使用する場合は、カメラ側の50mmマウントベースを取り外してからご使用ください。レンズにマウントベースが干渉して正常に取り付けられません。

※ 詳しくは L-851 フルHDカメラ および L-834 USBカメラ (赤外線仕様) の取扱説明書をご覧ください。

本器の保持について

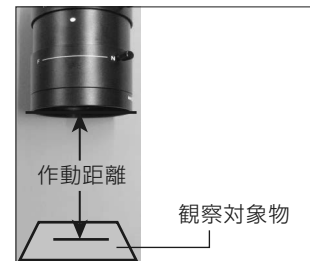
ホルダーなどで本器を保持して使用することはできません。必ずカメラ側を固定してください。

当社製品では L-803 フレキシブルアームのみご使用いただけます。

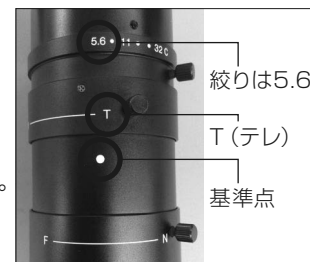


ご使用方法

- 1 作動距離を150~400mmの間で調整します。
作動距離とはレンズ側の先端から観察対象物までの距離を言います。
本器は作動距離によっても光学倍率が変化するため、1ページの光学倍率表を目安に調整を行ってください。



- 2 倍率を最大にします。ズーム調整リングのT (テレ) の表示が基準点の位置にくるようにしてください。
このとき、絞り調整リングのC (クローズ) の表示が基準点にあると、映像が映らないため、5.6が基準点にくるようにしてください。その後、ピント調整リングを回してピントを合わせてください。



高倍率側でピント合わせを行う理由

低倍率ではピントの合う範囲は広く、倍率の上昇とともにその範囲は狭まります。高倍率側でピント調整を行うことで、ズーム全域でピントが合った状態になります。

- 3 ズーム調整リングと絞り調整リングを回して倍率と視野の明るさ、被写界深度を目的の状態になるように調整してください。
固定ネジ (ピント側・ズーム側・絞り側) を締めると、各調整リングを固定できます。

ヒント

倍率について

本器はワークとの距離を近づけるほど高倍率で視野が狭くなり、反対にワークから遠ざけるほど低倍率で視野が広くなります。
また、ワークとの距離にかかわらずズーム調整リングを回すことで最大10倍のズームをかけることができます。用途に応じて適した位置に設置してください。